



国際規格の動向－国際会議に出席して－

当社に関する審議について報告する。

ISO/TC61(プラスチック)/SC6(耐候性) /WG3(諸暴露) Web会議

*喜多英雄

開催日:2024年5月13日

参加国:アメリカ・韓国・チェコ・ドイツ・日本

／5か国13名

ISO/NP 24110(UVC 紫外線とクリープの複合試験)
NP投票の結果について議論した。改訂された文書をWD
として回送する。

ISO/TC35(ペイント及びワニス)/SC9 (一般試験方法)/WG31(硬化後の試 験) イギリス・ロンドン

須賀茂雄、*須賀啓介、*喜多英雄

開催日:2024年6月4日

参加国:アメリカ・イギリス・オランダ・スイス・中国・ドイツ・

フランス・日本

／8か国24名

(1) ISO/CD 6270-2(湿潤試験)

CDコメントを議論した。ISO 11503(湿潤試験)の試験
条件を追加する改訂で、コメントはAcceptされ、DISに
進める。この改訂版が発行後、ISO 11503は廃止する。

(2) ISO/CD 11997-1(複合サイクル試験)

Warningを追加すること、B法、C法の試験条件を明
確にすることで合意した(移行時間はnote)。CDをスキ
ップしDISへ進める。

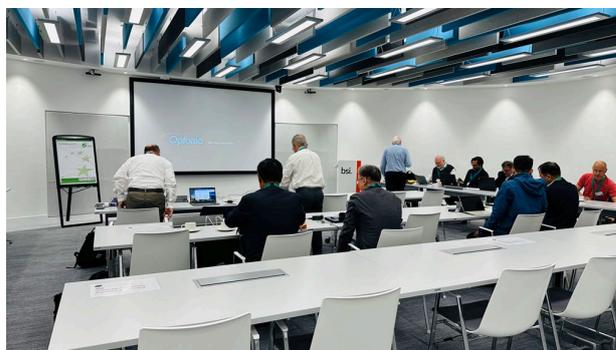
(3) ISO/CD 11997-2(複合サイクル試験)

PLより改訂点が説明された。その他の光源を規定に
追加することについて議論し、従来のままInformative

にすることとした。Type 1などの表現は、ISO 4892-3に
沿って変更する。DISに進める。

(4) ISO/PWI 9124(日射侵入比の測定方法)

PL 笹谷氏より現状が説明された。Draftを作成中で、
今年中にForm4を提出する。まだ開発中のため、ISで
はなくTSとして提案する。



ISO/TC35/SC9/WG31 会場



ロンドンの風景

ISO/TC42(写真)/WG5(画像の保存性) ベルギー・ブリュッセル及びWeb会議

*喜多英雄

開催日:2024年6月5日

参加国:アメリカ・イギリス・オランダ・スイス・ドイツ・

ベルギー・日本

／7か国11名



(1) ISO 18937-2(キセノン)

ILCの試験結果及び各試験機の状態の説明があった。
この結果を文書に反映させる。

(2) ISO/NP 18937-3(LED)

CDコメントについて議論し、試験を放射照度で管理する場合の問題をPL 喜多が説明した。コメントをすべて議論し、残っているコメントをWEB会議で議論し、CD2を準備する。

(5) 韓国提案 ISO(E-CCT複合サイクル試験方法)

韓国(PL Kim氏)より新規提案が説明された。Scopeを見直し改めて議論することになった。



ISO/TC156WG7 会場

**ISO/TC156 (金属及び合金の腐食)
/WG7(腐食促進試験)**

アメリカ・クリーブランド

須賀茂雄、*須賀啓介、*喜多英雄

開催日:2024年6月26日

参加国:アメリカ・イギリス・オランダ・韓国・スウェーデン・

チェコ・中国・ドイツ・フランス・日本

／10か国 35名



ISO/TC156が開催された
Case Western Reserve University

(1) ISO 9227 :2022 (塩水噴霧試験)/Amd 1:2024

ISO 10062 :2022(ガス腐食試験)/Amd 1:2024

Convenorの須賀より、2024年6月に発行されたことを報告した。

(2) ISO/DIS 16701 (Volvoサイクル試験)

PL Mats氏よりDISコメントとobservationが説明された。
FDISを準備し、FDIS投票を行う。

(3) ISO/SR 14993 (塩水噴霧・乾燥・湿潤のサイクル試験)

Convenorの須賀がSR投票の結果を報告し、日本より改正の提案があった。ConvenorがPLとしてMinor Revisionを行い、FDIS案を準備する。安全のためのWarningの追加や、ISO16151との整合を行う。

(4) 日本提案 ISO(融雪剤散布環境のガルバニック腐食促進試験方法)

日本(PL トヨタ自動車 川口氏)より新規提案が説明された。WDを準備する。

PL	Project Leader	プロジェクトリーダー
TS	Technical Specification	技術仕様書
ILC	Interlaboratory Comparison	研究所間比較試験

< ISO/IEC規格発行までの手順 >		
PWI	Preliminary Work Item (Project)	予備段階
NP	New Proposal for a work item	提案段階
AWI	Approved Work Item	提案承認段階
WD	Working Draft	作成段階
CD	Committee Draft	委員会段階
DIS*	Draft International Standard	照会段階
FDIS	Final Draft International Standard	承認段階
IS	International Standard	発行段階

※IECではCDV: Committee Draft for Vote

*校正部 部長

**代表取締役社長

***国内営業部 営業課 係長



規格ニュース

最近発行された試験規格を紹介する。

JASO M 609:2024 (改正)

自動車用部品・材料腐食試験方法

公益社団法人自動車技術会が制定した本規格は、自動車に用いられる鉄鋼材料及びそれを基材に表面処理を施した自動車用部品・材料の耐食性(外観腐食及び穴あき腐食)を複合サイクル試験によって調べる方法について規定しており、33年ぶりの改正となった。この改正によりJASO M 610:1992は廃止された。《詳しくは7ページ参照》

JASO TP 91001:2024 (改正)

“JASO M 609:2024自動車用部品・材料 腐食試験方法”の技術的背景

本テクニカルペーパーは、JASO M 609改正の中で取得した各種データを掲載している。

JIS K 7201-4:2024 (制定)

プラスチック-酸素指数による燃焼性の試験方法—第4部:高速気流における試験

ISO 4589-4:2021を技術的な変更を加えることなく制定したもので、高流速下の燃焼性を評価する酸素指数の求め方および試験装置を規定している。この試験方法は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)によるFLAREテーマ(火災安全性向上に向けた固体材料の燃焼現象に対する重力影響の評価)を目的として開発された。試験には、当社が開発した燃焼性試験器ON-Zが使用された。



高流速下の酸素指数方式の燃焼性試験器 ON-Z

JIS L 0843:2023 (改正)

キセノンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法

旧規格の第3露光法を見直し、また、第5露光法でブルースケールが標準退色するまでの放射露光量を見直し、標準退色するまでのおおよその時間を追記した。

JIS L 0849:2023 (改正)

摩擦に対する染色堅ろう度試験方法

日本で開発された摩擦試験機II形(学振形)を規定したISO 105-X19と整合させるため改正した。試験結果に影響する試験片の動き(しわ・よれ)を防止する目的で、従来の耐水研磨紙に加えて、ISO 105-X19に規定の両面粘着テープの使用を規定した。



ISO 105-X19、JIS L 0849適合の摩擦試験機 FR-G

JTM G 01:2024 (改正)

メタルハライド方式試験方法

日本試験機工業会が制定した、メタルハライドランプを用いた促進耐候性試験機の装置規格で、2000年の初版から、製品の仕様変更に伴い見直しが行われ改正された。



メタリング®ウェザーメーター M6T

メタリング®はスガ試験機(株)の登録商標です。